

事業所名

児童デイサービスそら

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		障がいのある児童、また高齢者、その他の手助けを必要とする人々の生活や余暇活動時における介助等を包括的に支援し共に暮らす。 すべての人々が健やかに自由に暮らせる地域社会づくりを目的とし、“真のバリアフリー社会”の実現・ハンディキャップのある人々の積極的な社会参加への実現に寄与する活動を行う。										
支援方針		子どもたちが多世代と交流し。互いに学び合う事を目指します。 日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応訓練を行うだけでなく、「遊び」の力を大切にしています。 障がいを持つ児童にとって、忘れられがちな日常の遊びを中心に広々とした敷地で思い切り体を動かしたり、様々な動物や植物の世話、音楽や物づくり、スポーツなどの自由度の高い過ごし方の中で一人一人の社会参画のあり方を共に模索し伴走します。 施設内に学習できる環境を整備し、進学、就労支援や生活介護など、18歳以上からのサービス事業所も共に活動することで、制度や年齢で区切らない包括的な支援を目指します。										
営業時間		平日 土・祝長期休み	8 8	時 時	30 30	分から から	19 17	時 時	0 30	分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容												
本人 支 援	健康・生活	○健康状態の維持・改善 ○生活習慣や生活リズムの形成 ○基本的な生活スキルの獲得(挨拶練習・トイレトレーニング等)										
	運動・感覚	○広い敷地でのびのびと体を動かす ○自由度の高い過ごし方を通して、本人の持っている力を発見し引き出す ○感覚の特性への対応〈個別支援から集団適応へ〉 ○日常的な社会生活への適応										
	認知・行動	○ブロック遊び(形・数量・大小、色の認識) ○行動障がいへの対応・予防										
	言語 コミュニケーション	○自分の気持ちを伝えられる ○本人の特性に合わせたコミュニケーション手段の選択肢を獲得する ○読み書き能力向上の為の支援										
	人間関係 社会性	○遊びを通じた社会性の発達、自己表現 ○仲間づくりと集団への参加 ○一人遊びから他児との関わりも徐々に増やしていく(おもちゃの貸し借りなどアラームをかけたたり時間を決めて行う)										
家族支援		○家族(きょうだいを含む。)からの相談に対する適切な助言等 ○ピアサポートのできる交流の機会提供				移行支援		○保育園・幼稚園との連携をとり、特性の理解。進級・入学後もフォローアップしていく。				
地域支援・地域連携		○学校・医療機関等との情報連携や環境調整等に関する相談援助等の取組 ○地域行事への参加や日常的な交流による顔の見える関係性づくりセーフティーネットの構築 ○他事業所との多世代交流。事業所の開放によるイベント企画				職員の質の向上		○事業所内研修・外部研修への参加 ○療育・制度、5領域等にかかる読み合わせ ○救急対応など非常時対応研修 ○虐待や身体拘束予防研修				
主な行事等		○季節に応じたイベント、プール、海あそびなど家庭で困難な遊びなど体験活動の提供 ○障害者スポーツに関わる企画への参加 ○敷地内動物の世話など生き物を通じた情操教育 ○地域のイベント参加や外出など、社会参画の機会をつくる										